東部大阪都市計画都市高速鉄道
京阪電気鉄道京阪本線（寝屋川市・枚方市）に係る
環境影響評価

事後調査報告書

（令和６年度分　建設機械の稼働に伴う騒音・振動）

令和７年３月

大　阪　府

目　　　次

ページ

１．事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地 ･･････････････････････ 1

２．対象事業の名称 ･･ 1

３．対象事業の実施状況 ･･ 1

４．事後調査の方法 ･･ 4

５．事後調査の結果及び検証 ･･ 6

１．事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地

主たる事業者の名称 ： 大阪府

代 表 者 の 氏 名 ： 大阪府知事 吉村 洋文

主たる事業所の所在地 ： 大阪市中央区大手前２丁目

２．対象事業の名称

東部大阪都市計画都市高速鉄道京阪電気鉄道京阪本線（寝屋川市・枚方市）

３．対象事業の実施状況

(1) 対象事業の目的

寝屋川市、枚方市の京阪本線沿線は、大阪近郊の住宅都市として発展してきた地域で、市の中心となる京阪本線の寝屋川市駅及び枚方市駅周辺は、既に高架化されています。

しかしながら、両駅間の香里園駅、光善寺駅、枚方公園駅周辺は、平面のままで 21 ヵ所の踏切があり、そのうち 13 ヵ所が、ピーク１時間当たり 40 分以上閉まっている「開かずの踏切」となっています。

このような踏切を一挙に除却することで、交通渋滞や事故を根本的に解消するとともに、鉄道により分断されていた市街地の一体化を図り、地域の発展の活性化を目的として、京阪本線の連続立体交差を推進することとしています。

(2) 対象事業の概要

対象事業の概要は、表 3.1 に示すとおりであり、事業計画路線及び工区範囲は、図 3.1 に示すとおりです。

表 3.1　対象事業の概要

項　目	概　要
区　　間	起 点：寝屋川市幸町 終 点：枚方市岡南町 延 長：約 5.5km（寝屋川市域約 2.1 km、枚方市域約 3.4 km）
高架となる駅	香里園駅：島式ホーム形式（２面） 光善寺駅：相対式ホーム形式 枚方公園駅：相対式ホーム形式
事業形式	東側仮線高架方式（国道 170 号付近・香里園駅付近・枚方公園駅北側） 西側別線高架方式（国道 170 号付近・香里園駅付近・枚方公園駅北側以外）
高架構造	ＲＣラーメン高架橋、ＰＣ桁橋、鋼桁橋

(3)　各工程の実施状況

工事工程は表 3.2 に示すとおりです。

令和６年度は、１工区～５工区において、仮線予定区域の土木工事、電気工事等を進めています。

なお、用地取得については、寝屋川市域及び枚方市域を含めて 98%完了しています。

表 3.2　工事工程

年度／項目	平成25年度	～	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
測量調査等	■	■	■	■	■	■							
用地取得			■	■	■	■	■	■	■	■			
土木工事							■	■	■	■	■	■	■
軌道・電気工事								■	■	■	■	■	■
駅舎等							■	■	■	■	■	■	■

出典：「枚方土木事務所管内図」（大阪府枚方土木事務所、令和４年４月版）より作成

図 3.1　事業計画路線及び工区範囲

４．事後調査の方法

(1)　事後調査の項目

事後調査の項目は事後調査計画書により、表 4.1 に示すとおりです。

表 4.1　事後調査の項目

区　分	環境項目	事後調査の項目
建設工事中	騒　音	建設機械の稼働に伴う騒音
	振　動	建設機械の稼働に伴う振動

(2)　調査地点、調査時期及び頻度、並びに調査方法

調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は事後調査計画書により、表 4.2 に示すとおりです。

表 4.2　建設工事中における調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

環境項目	事後調査の項目	内　容	
騒　音	建設機械の稼働に伴う騒音	調査事項	・騒音レベルの 90%レンジ上端値
		調査地点	・建設機械が同時に稼動する台数が多い香里園駅・光善寺駅・枚方公園駅付近（図 4.1 参照）
		調査期間及び頻度	・工事の実施期間中、定期的
		調査方法	・騒音規制法で定められた方法に準拠して測定
		環境保全目標	・建設作業音が工事区域の敷地境界線において 85 デジベルを超える大きさでないこと
振　動	建設機械の稼働に伴う振動	調査事項	・振動レベルの 80%レンジ上端値
		調査地点	・建設機械が同時に稼動する台数が多い香里園駅・光善寺駅・枚方公園駅付近（図 4.1 参照）
		調査期間及び頻度	・工事の実施期間中、定期的
		調査方法	・振動規制法で定められた方法に準拠して測定
		環境保全目標	・建設作業振動は工事区域の敷地境界線において 75 デジベルを超える大きさでないこと

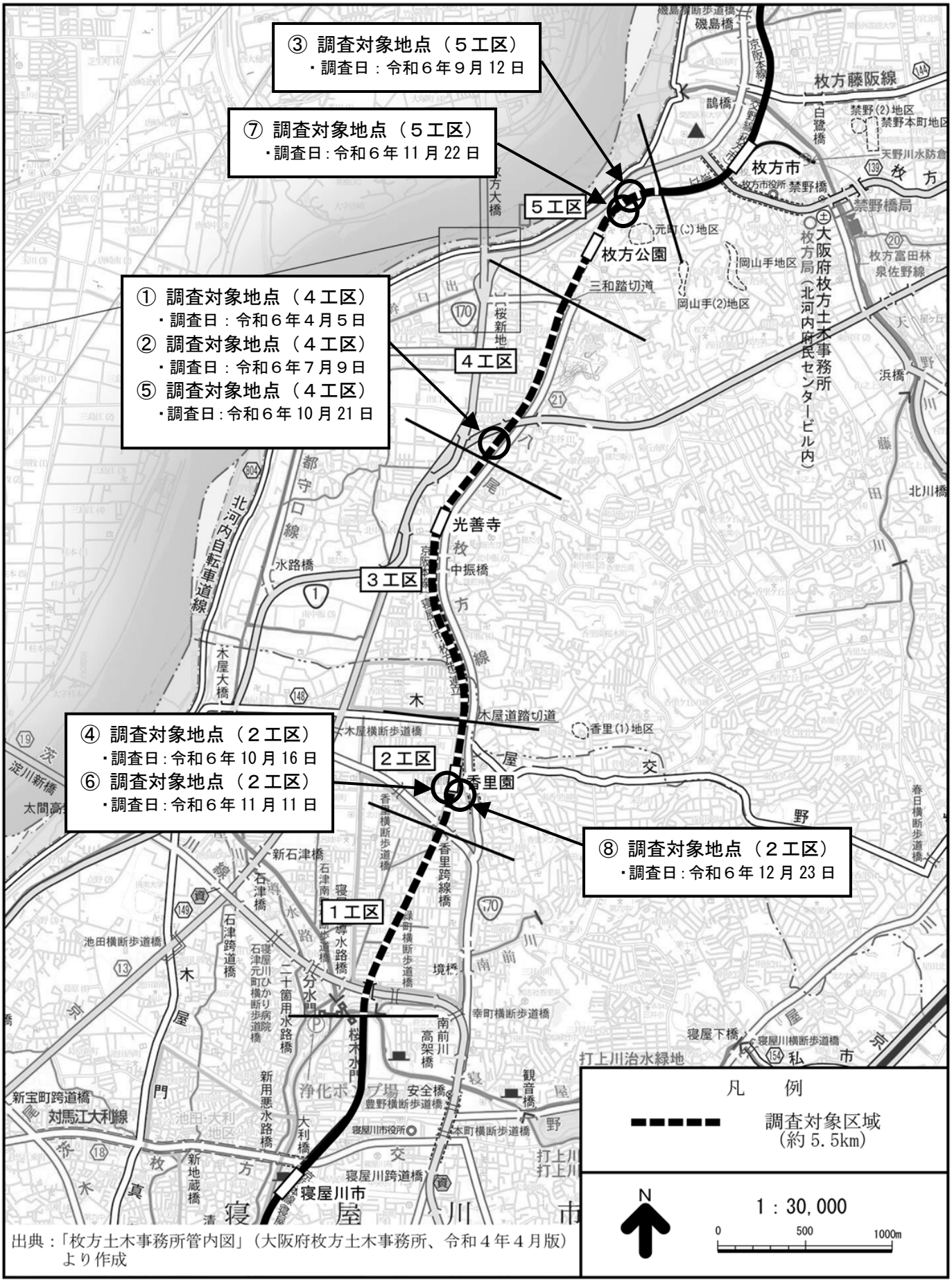


図 4.1　建設機械の稼働に伴う騒音・振動の調査地点

５．事後調査の結果及び検証

(1)　建設機械の稼働に伴う騒音

①　４工区（調査日：令和６年４月５日）

建設工事の土木工事として、４工区における先行削孔工事（遮断鋼矢板工）の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-1 に示すとおりです。

先行削孔工事（遮断鋼矢板工）において稼働していた建設機械は、ラフタークレーン 50ｔ、バックホウ 0.08m^{3}及び発電機 150kVA であり、測定位置からの距離はそれぞれ 13m、24m、13mです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90%レンジ上端値が 71 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

②　４工区（調査日：令和６年７月９日）

建設工事の土木工事として、４工区における全周回転式オールケーシング工事（硬質地盤対策工）の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-2 に示すとおりです。

全周回転式オールケーシング工事（硬質地盤対策工）において稼働していた建設機械は、全周回転掘削機、クローラークレーン 70ｔ、バックホウ 0.45m^{3}及びバックホウ 0.25m^{3}であり、測定位置からの距離はそれぞれ 24m、13m、８m、13mです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90%レンジ上端値が 73 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

③　５工区（調査日：令和６年９月 12 日）

建設工事の土木工事として、５工区における杭工事(土留杭(親杭)建込)の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-3 に示すとおりです。

杭工事(土留杭(親杭)建込)において稼働していた建設機械はバックホウ 0.25m^{3}及び穴掘建柱車であり、測定位置からの距離はそれぞれ 19m、21mです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90%レンジ上端値が 64 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

④　２工区（調査日：令和６年 10 月 16 日）

建設工事の土木工事として、２工区における杭工事（鋼管杭圧入工）の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-4 に示すとおりです。

杭工事（鋼管杭圧入工）において稼働していた建設機械は、小型三点式杭打機、小型クレーン 4.9ｔ、小型バックホウ 0.1m^{3}及び発電機兼用溶接機であり、測定位置からの距離はそれぞれ８ｍ、10ｍ、10ｍ、３ｍです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90％レンジ上端値が 75 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

⑤　４工区（調査日：令和６年 10 月 21 日）

建設工事の土木工事として、４工区における制御圧入・掘削、アーバンリング組立工事（アーバンリング工）の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-5 に示すとおりです。

制御圧入・掘削、アーバンリング組立工事（アーバンリング工）において稼働していた建設機械は、クローラークレーン 65ｔ、バックホウ 0.45m^3、ベッセルダンプ 10t、沈設装置、油圧制御装置及び姿勢制御装置であり、測定位置からの距離はそれぞれ 17ｍ、10ｍ、３ｍ、26ｍ、26ｍ、26ｍです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90％レンジ上端値が 70 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

⑥　２工区（調査日：令和６年 11 月 11 日）

建設工事の土木工事として、２工区における鋼矢板圧入工の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-6 に示すとおりです。

鋼矢板圧入工において稼働していた建設機械は、圧入工機器（圧入機）、圧入工機器（発電機）、ラフタークレーン 25ｔ及び発電機（溶接用）であり、測定位置からの距離はそれぞれ２ｍ、８ｍ、８ｍ、10ｍです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90％レンジ上端値が 73 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

⑦　５工区（調査日：令和６年 11 月 22 日）

建設工事の電気工事として、５工区における場所打杭工(仮鉄柱基礎新設工)の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-7 に示すとおりです。

場所打杭工（仮鉄柱基礎新設工)において稼働していた建設機械は、バックホウ 0.10m^3、バックホウ 0.25m^3、コンクリートミキサー車及びダンプトラック 10t であり、測定位置からの距離はそれぞれ 30m、13m、16m、16mです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90%レンジ上端値が 72 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

⑧　２工区（調査日：令和６年 12 月 23 日）

建設工事の土木工事として、２工区における撤去工事（地中障害撤去工）の騒音を調査しました。調査結果は別紙-5-8 に示すとおりです。

撤去工事（地中障害撤去工）において稼働していた建設機械は、全施回油圧ユニット、全周回ジャッキ、クローラークレーン 100t 及びバックホウ 0.45m^3 であり、測定位置からの距離はそれぞれ６m、10m、15m、20mです。

騒音の調査結果は、騒音レベルの 90%レンジ上端値が 76 デシベルであり、騒音の環境保全目標（85 デシベル）を満足しています。

(2)　建設機械の稼働に伴う振動

①　４工区（調査日：令和６年４月５日）

建設工事の土木工事として、４工区における先行削孔工事（遮断鋼矢板工）の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-1 に示すとおりです。

先行削孔工事（遮断鋼矢板工）において稼働していた建設機械は、ラフタークレーン 50ｔ、バックホウ 0.08m^{3}及び発電機 150kVA であり、測定位置からの距離はそれぞれ 13m、24m、13mです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 45 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

②　４工区（調査日：令和６年７月９日）

建設工事の土木工事として、４工区における全周回転式オールケーシング工事（硬質地盤対策工）の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-2 に示すとおりです。

全周回転式オールケーシング工事（硬質地盤対策工）において稼働していた建設機械は、全周回転掘削機、クローラークレーン 70ｔ、バックホウ 0.45m^{3}及びバックホウ 0.25m^{3}であり、測定位置からの距離はそれぞれ 24m、13m、８m、13mです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 57 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

③　５工区（調査日：令和６年９月 12 日）

建設工事の土木工事として、５工区における杭工事(土留杭(親杭)建込)の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-3 に示すとおりです。

杭工事(土留杭(親杭)建込)において稼働していた建設機械はバックホウ 0.25m^{3}及び穴掘建柱車であり、測定位置からの距離はそれぞれ 19m、21mです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 34 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

④　２工区（調査日：令和６年 10 月 16 日）

建設工事の土木工事として、２工区における杭工事（鋼管杭圧入工）の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-4 に示すとおりです。

杭工事（鋼管杭圧入工）において稼働していた建設機械は、小型三点式杭打機、小型クレーン 4.9ｔ、小型バックホウ 0.1m^{3}及び発電機兼用溶接機であり、測定位置からの距離はそれぞれ８ｍ、10m、10m、３ｍです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 55 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

⑤　４工区（調査日：令和６年 10 月 21 日）

建設工事の土木工事として、４工区における制御圧入・掘削、アーバンリング組立工事（アーバンリング工）の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-5 に示すとおりです。

制御圧入・掘削、アーバンリング組立工事（アーバンリング工）において稼働していた建設機械は、クローラークレーン 65ｔ、バックホウ 0.45m^3、ベッセルダンプ 10t、沈設装置、油圧制御装置及び姿勢制御装置であり、測定位置からの距離はそれぞれ 17m、10m、３ｍ、26m、26m、26ｍです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 54 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

⑥　２工区（調査日：令和６年 11 月 11 日）

建設工事の土木工事として、２工区における鋼矢板圧入工の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-6 に示すとおりです。

鋼矢板圧入工において稼働していた建設機械は、圧入工機器（圧入機）、圧入工機器（発電機）、ラフタークレーン 25ｔ及び発電機（溶接用）であり、測定位置からの距離はそれぞれ２ｍ、８ｍ、８ｍ、10ｍです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 58 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

⑦　５工区（調査日：令和６年 11 月 22 日）

建設工事の電気工事として、５工区における場所打杭工(仮鉄柱基礎新設工)の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-7 に示すとおりです。

場所打杭工（仮鉄柱基礎新設工)において稼働していた建設機械は、バックホウ 0.10m^3、バックホウ 0.25m^3、コンクリートミキサー車及びダンプトラック 10t であり、測定位置からの距離はそれぞれ 30m、13m、16m、16mです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 46 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

⑧　２工区（調査日：令和６年 12 月 23 日）

建設工事の土木工事として、２工区における撤去工事（地中障害撤去工）の振動を調査しました。調査結果は別紙-6-8 に示すとおりです。

撤去工事（地中障害撤去工）において稼働していた建設機械は、全施回油圧ユニット、全周回ジャッキ、クローラークレーン 100t 及びバックホウ 0.45m^3 であり、測定位置からの距離はそれぞれ６m、10m、15m、20mです。

振動の調査結果は、振動レベルの 80%レンジ上端値が 57 デシベルであり、振動の環境保全目標（75 デシベル）を満足しています。

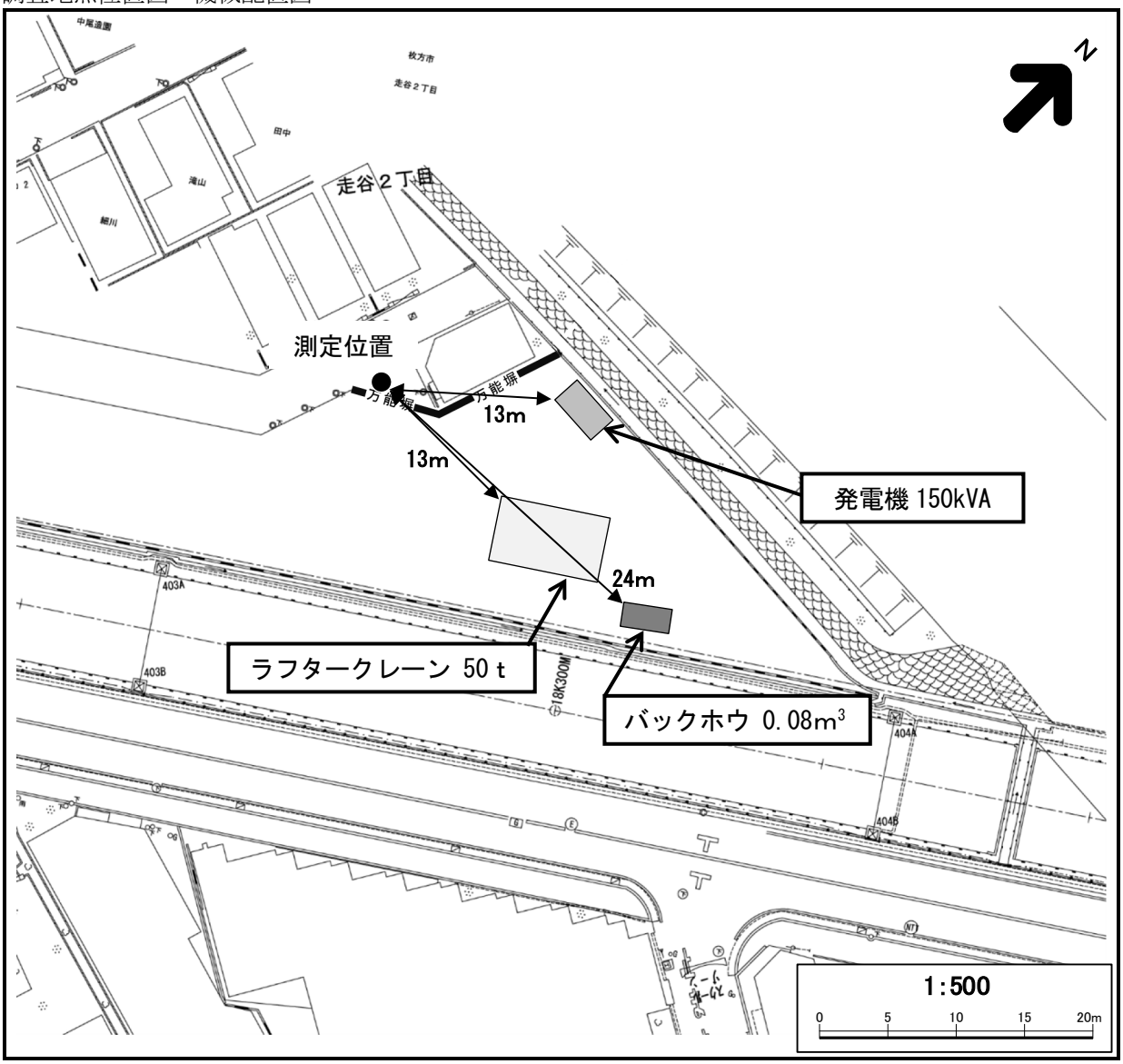
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：４工区　　用途地域：準住居地域　　調査日：令和６年４月５日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	0：00 ～ 4：20	71	・先行削孔（遮断鋼矢板工） ・ラフタークレーン50ｔ、バックホウ0.08ｍ^3、発電機150kVA	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

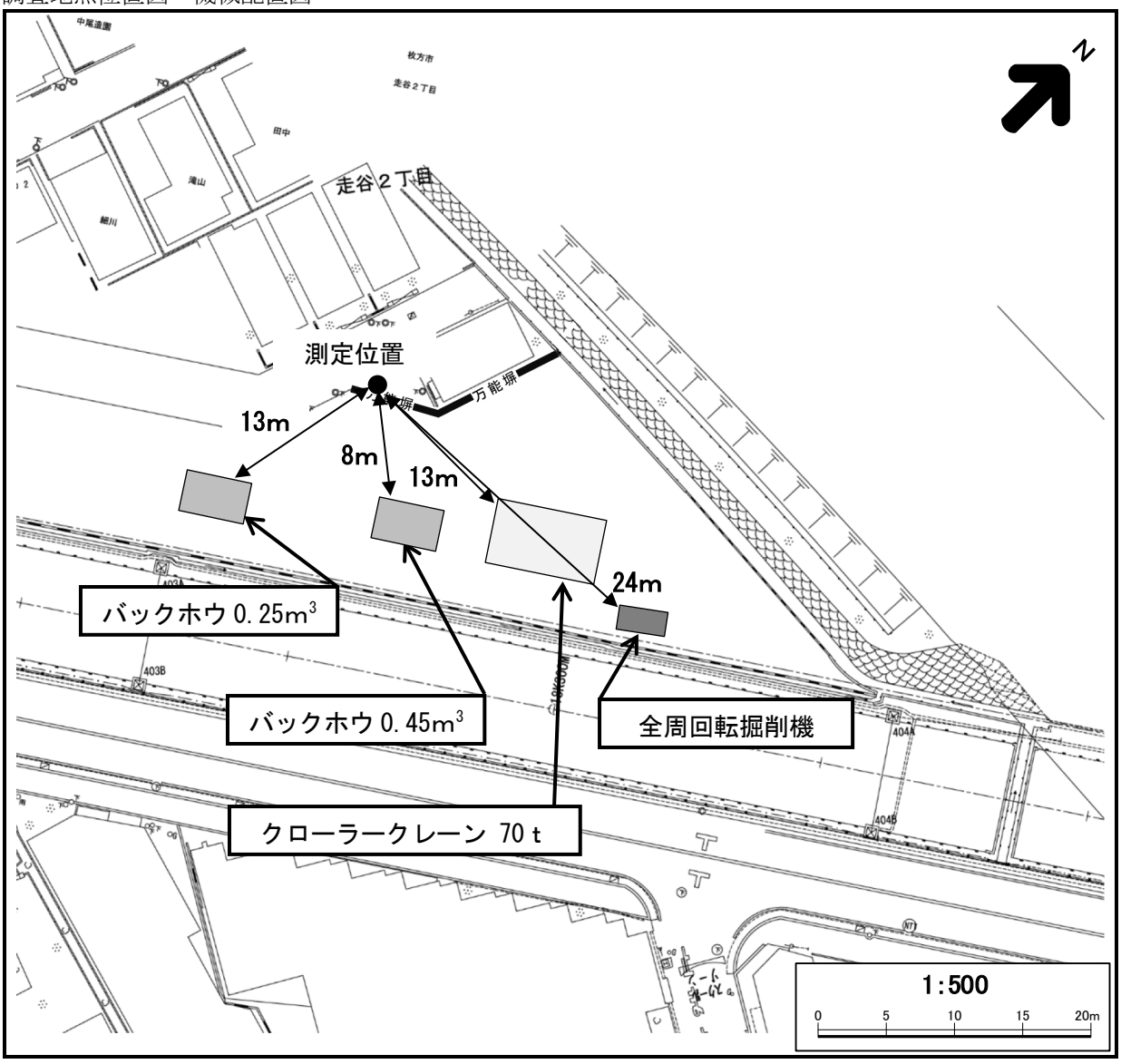
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：４工区　　用途地域：準住居地域　　調査日：令和６年７月９日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：30～17：30	73	・全周回転式オールケーシング（硬質地盤対策工） ・全周回転掘削機、クローラークレーン70ｔ、バックホウ0.45m^3、バックホウ0.25m^3	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

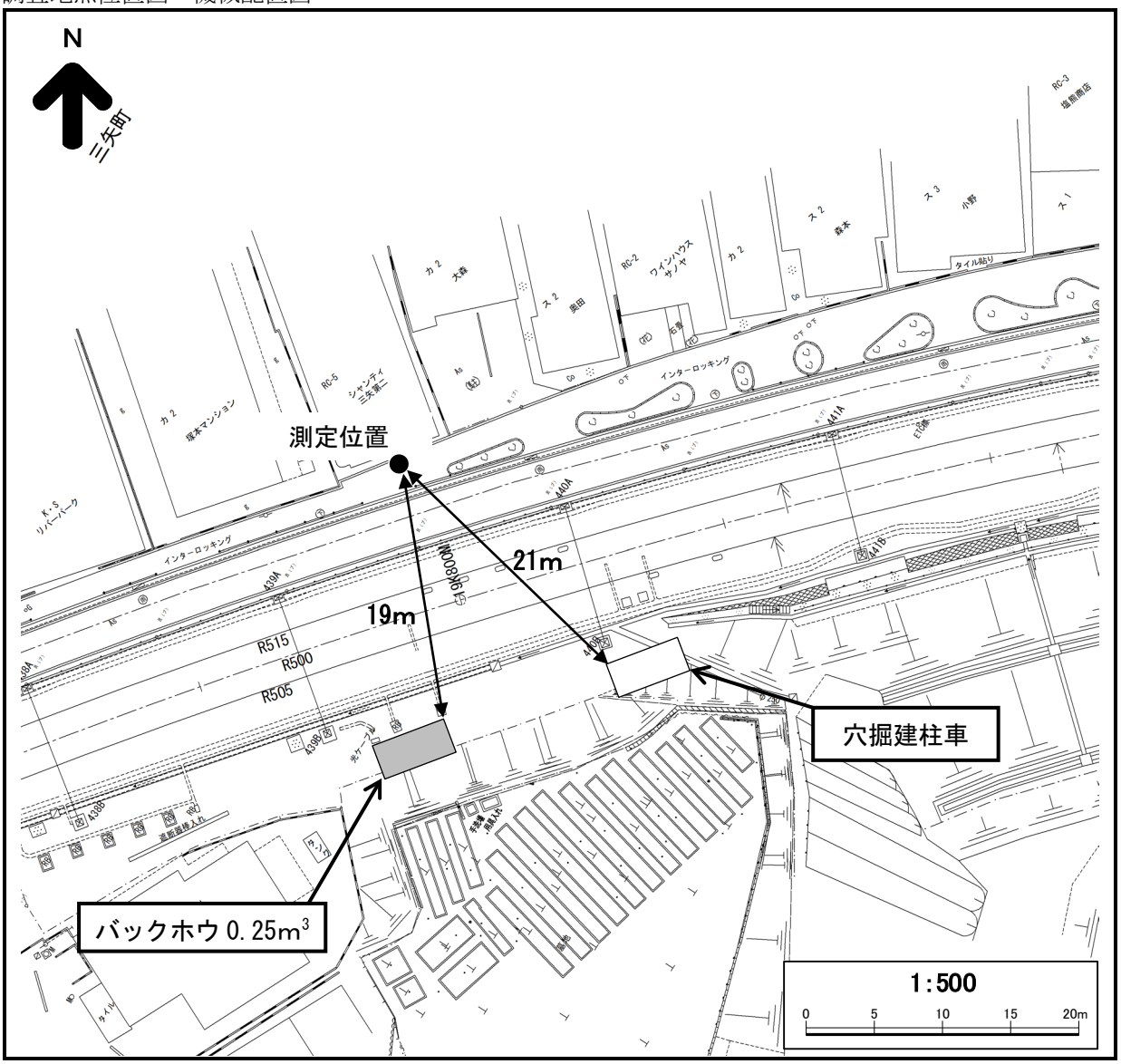
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：５工区　　用途地域：第二種住居地域　　調査日：令和６年９月12日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	9：00 ～ 13：00	64	・杭工事（土留杭（親杭）建込） ・バックホウ0.25m^3、穴掘建柱車	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

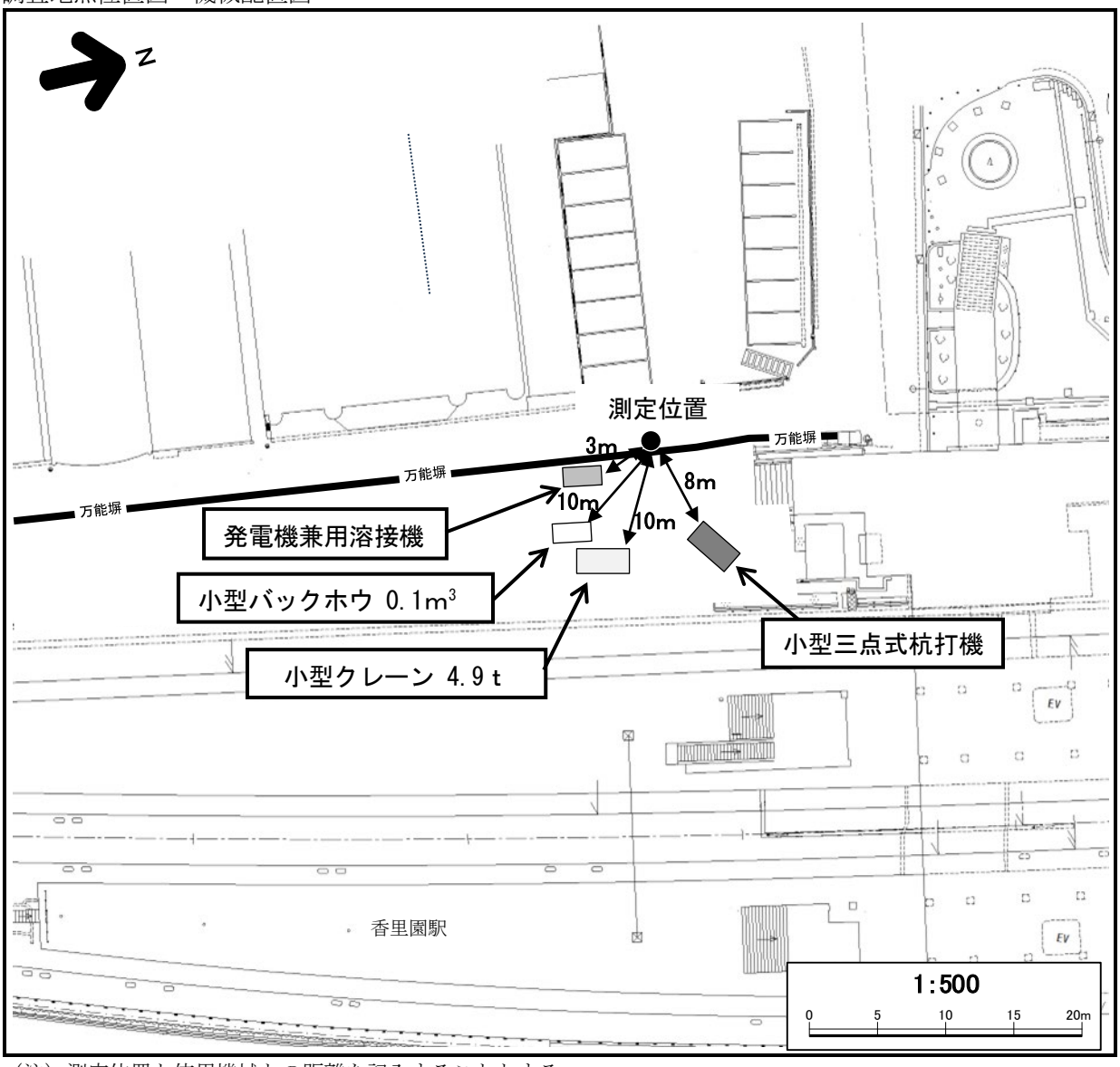
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：２工区　　用途地域：商業地域　　調査日：令和６年10月16日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：30～12：00 13：00～16：30	75	・杭工事（鋼管杭圧入工） ・小型三点式杭打機、小型クレーン4.9ｔ、小型バックホウ0.1m^3、発電機兼用溶接機	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

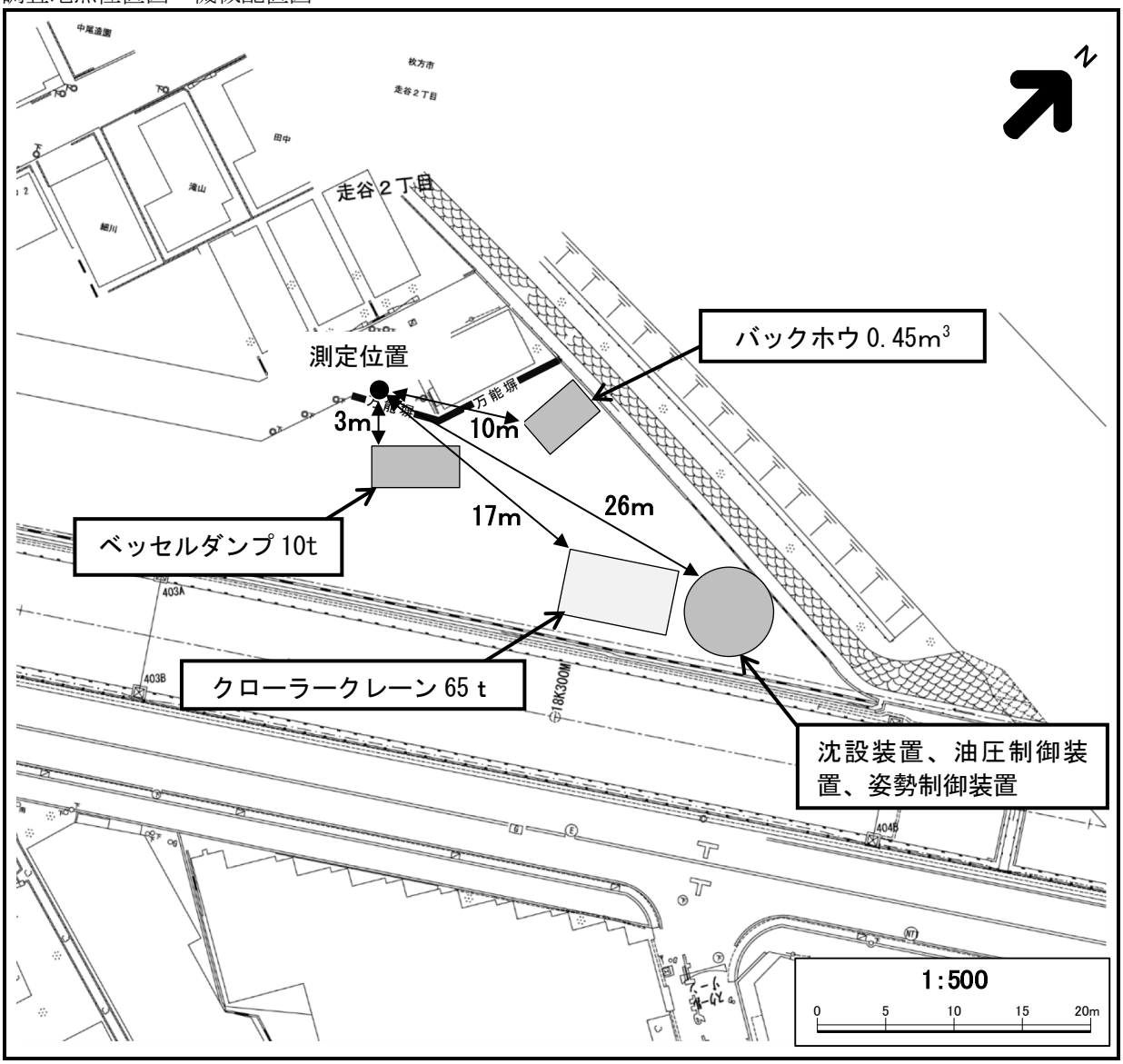
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：４工区　　用途地域：準住居地域　　調査日：令和６年10月21日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：10 ～ 16：40	70	・制御圧入・掘削、アーバンリング組立（アーバンリング工） ・クローラークレーン65ｔ、バックホウ0.45m^3、ベッセルダンプ10t、沈設装置、油圧制御装置、姿勢制御装置	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

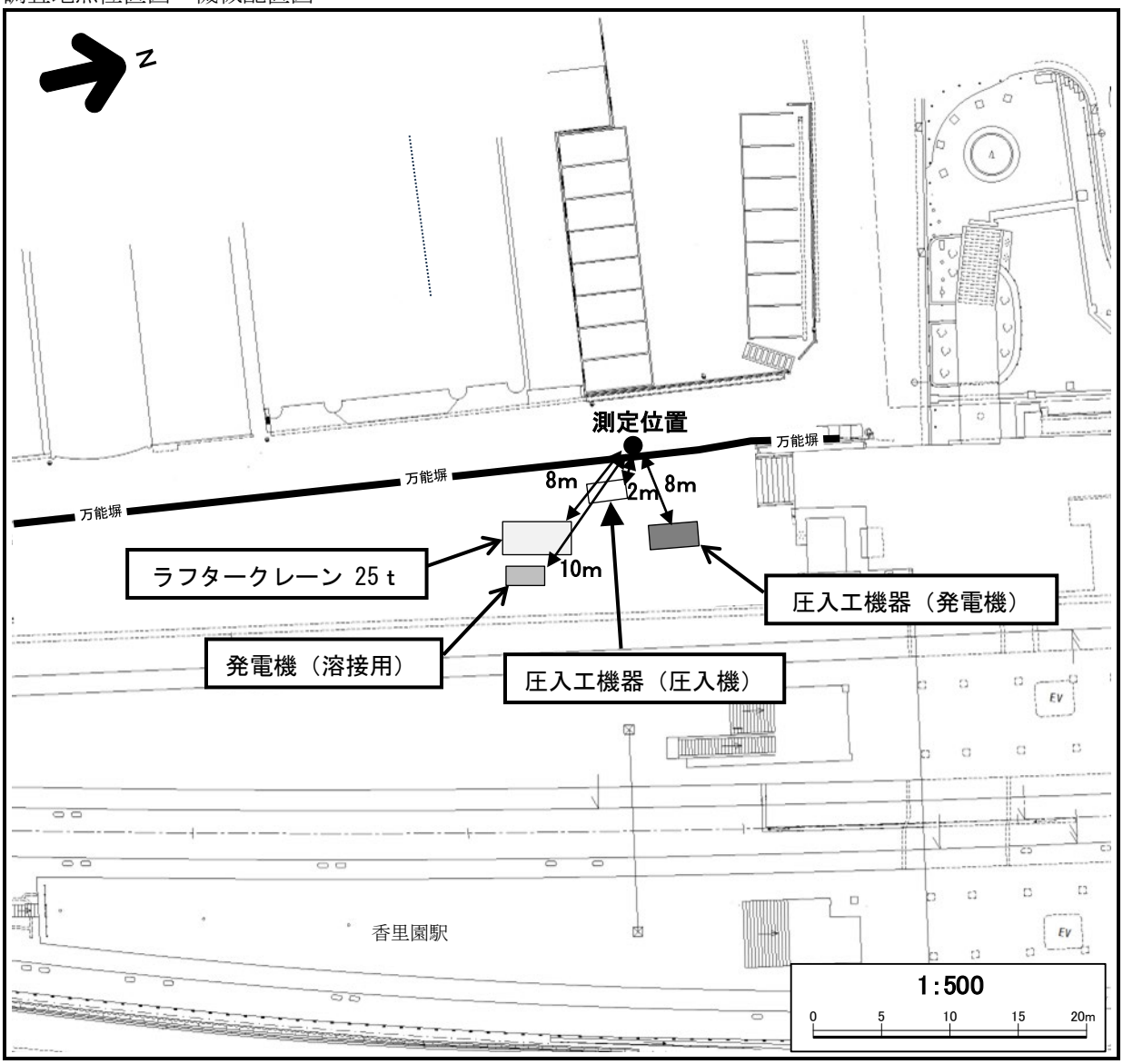
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：２工区　　用途地域：商業地域　　調査日：令和６年11月11日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：30～12：00 13：00～16：10	73	・鋼矢板圧入工 ・圧入工機器（圧入機）、圧入工機器（発電機）、ラフタークレーン25ｔ、発電機（溶接用）	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

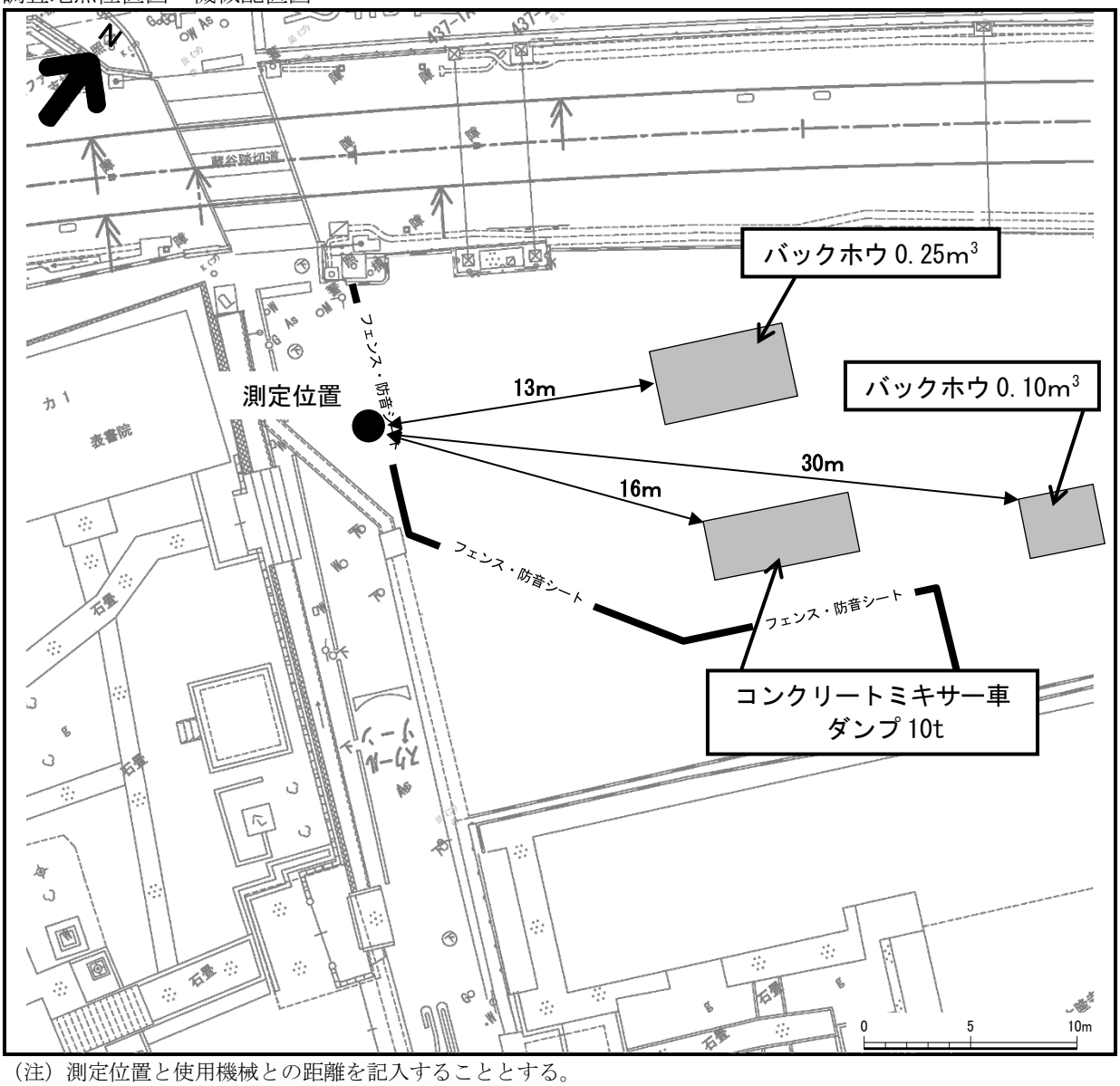
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：５工区　　用途地域：第二種中高層住居専用地域　　調査日：令和６年11月22日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
電気工事	9：00～12：00 13：10～16：10	72	・場所打杭工（仮鉄柱基礎新設工） ・バックホウ0.25m³、バックホウ0.10m³、コンクリートミキサー車、ダンプ10t	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

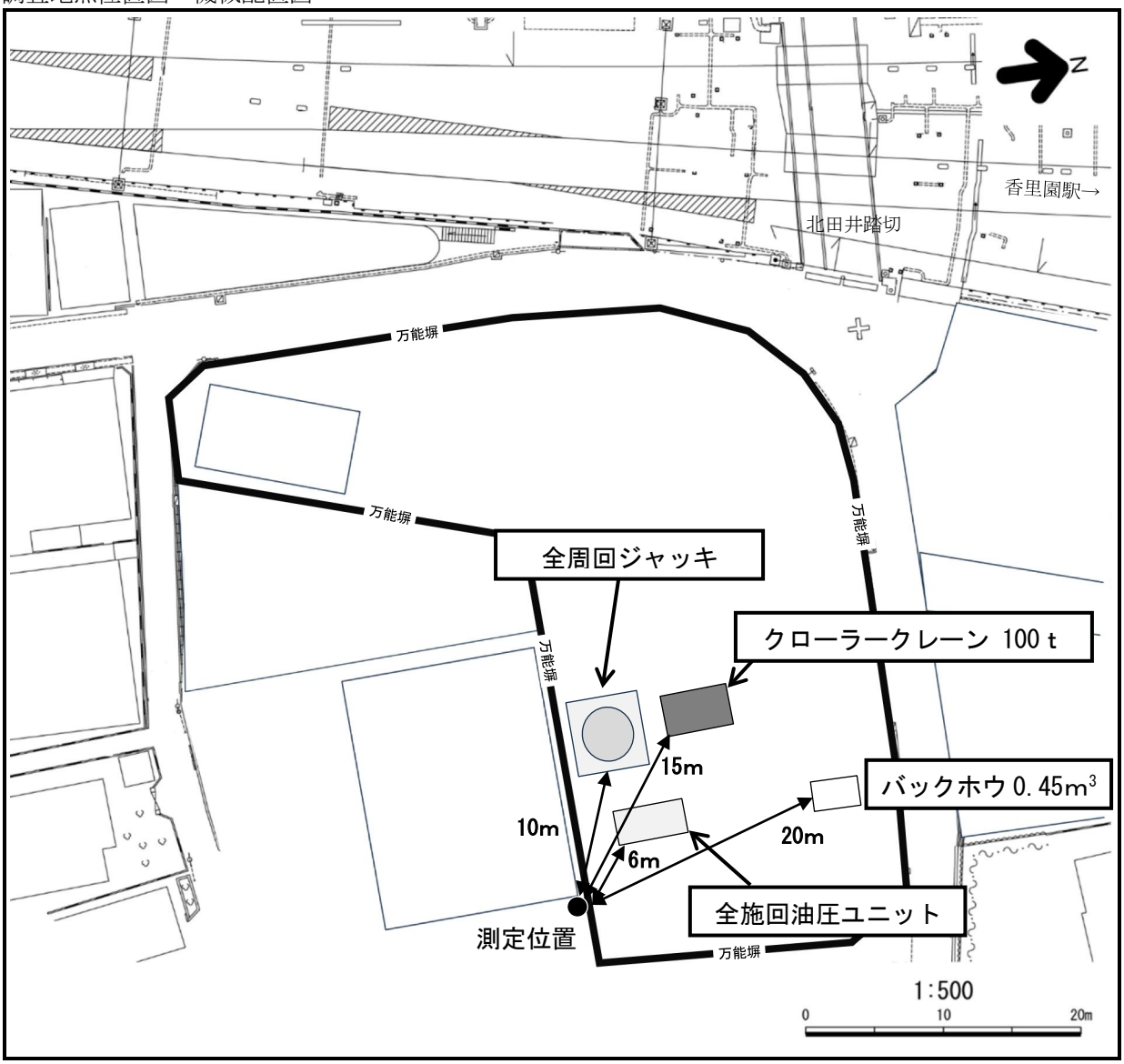
工事騒音様式

建設機械の稼働に伴う騒音調査結果

工区：２工区　　用途地域：近隣商業地域　　調査日：令和６年12月23日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	騒音レベルの90%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：00～12：00 12：50～16：50	76	・撤去工事（地中障害撤去工） ・クローラークレーン100t、全周回ジャッキ、全施回油圧ユニット、バックホウ0.45m^3	85	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

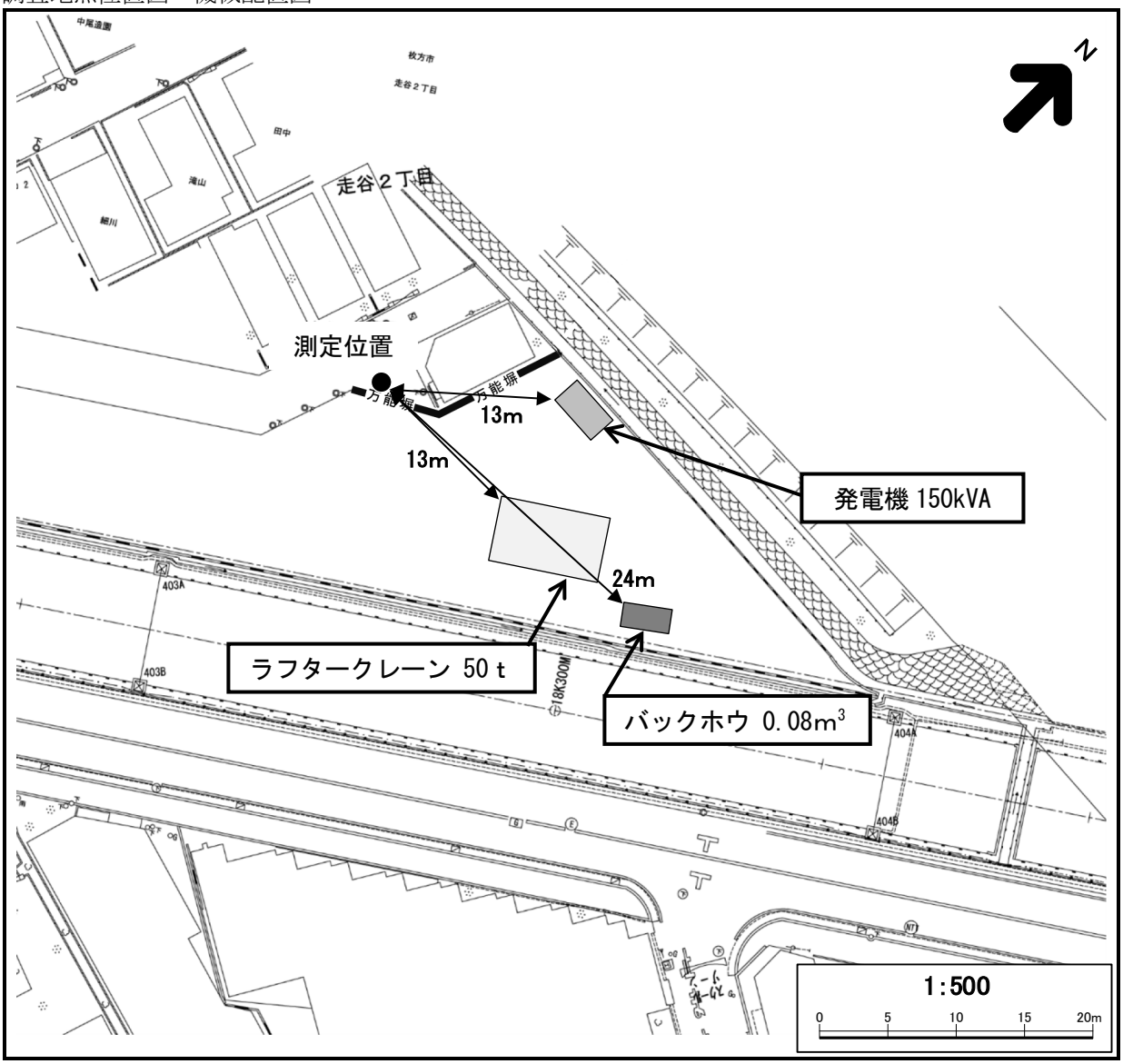
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：４工区　　用途地域：準住居地域　　調査日：令和６年４月５日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	0：00 ～ 4：20	45	・先行削孔（遮断鋼矢板工） ・ラフタークレーン50ｔ、バックホウ0.08ｍ^3、発電機150kVA	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

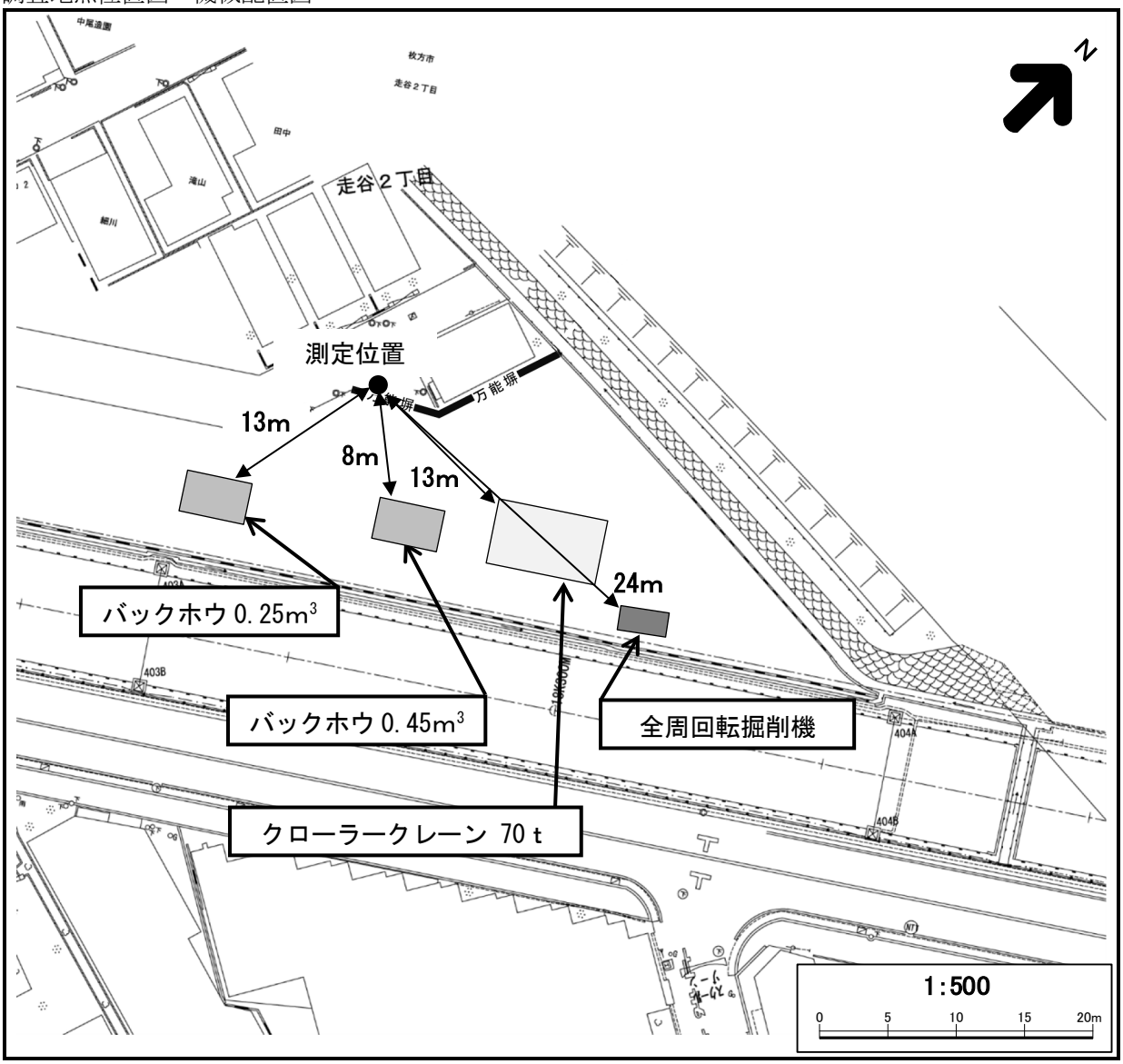
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：４工区　　用途地域：準住居地域　　調査日：令和６年７月９日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：30 ～ 17：30	57	・全周回転式オールケーシング（硬質地盤対策工） ・全周回転掘削機、クローラークレーン70ｔ、バックホウ0.45m^3、バックホウ0.25m^3	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

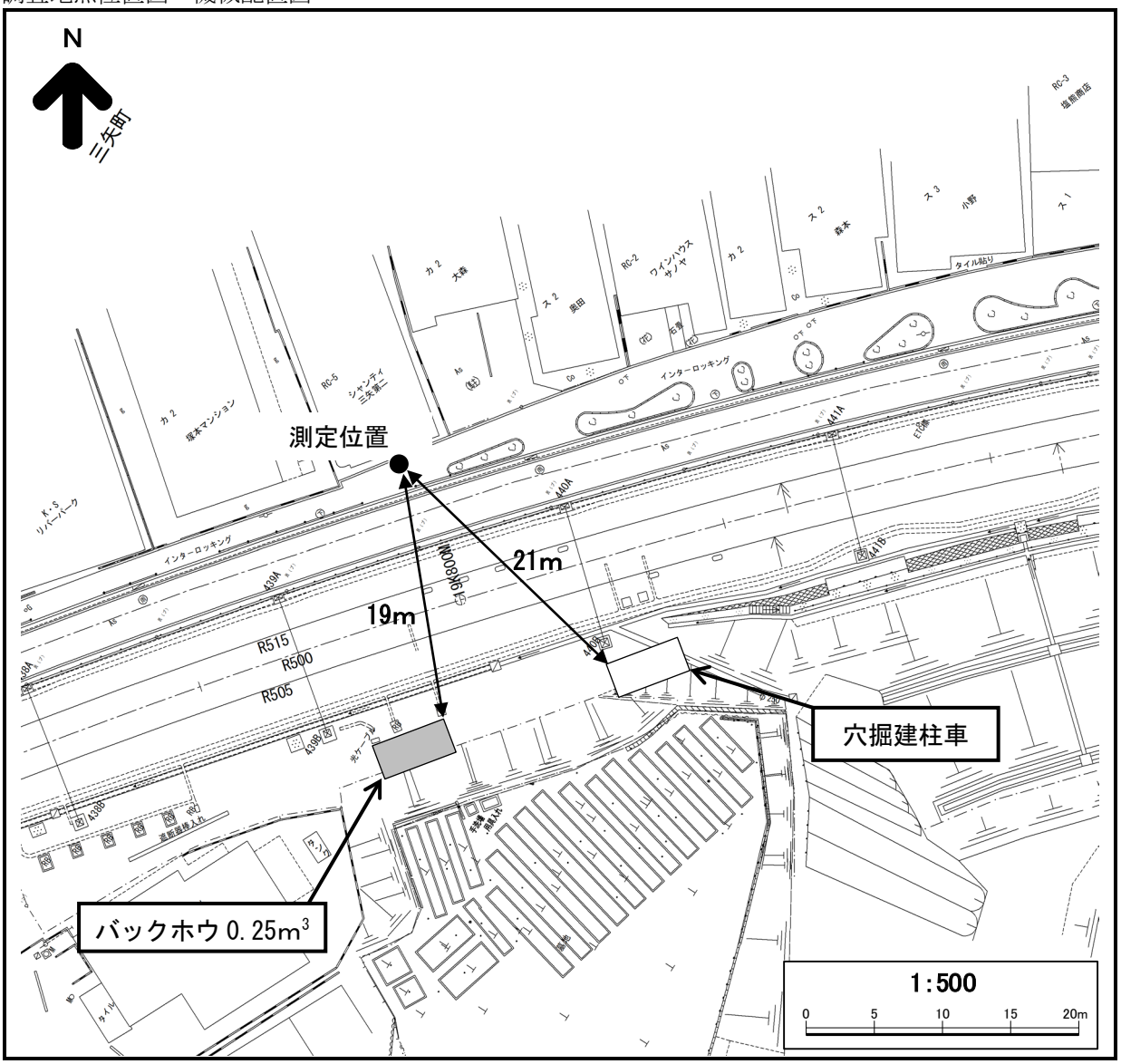
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：５工区　　用途地域：第二種住居地域　　調査日：令和６年９月12日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	9：00 ～ 13：00	34	・杭工事（土留杭（親杭）建込） ・バックホウ0.25m^3、穴掘建柱車	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

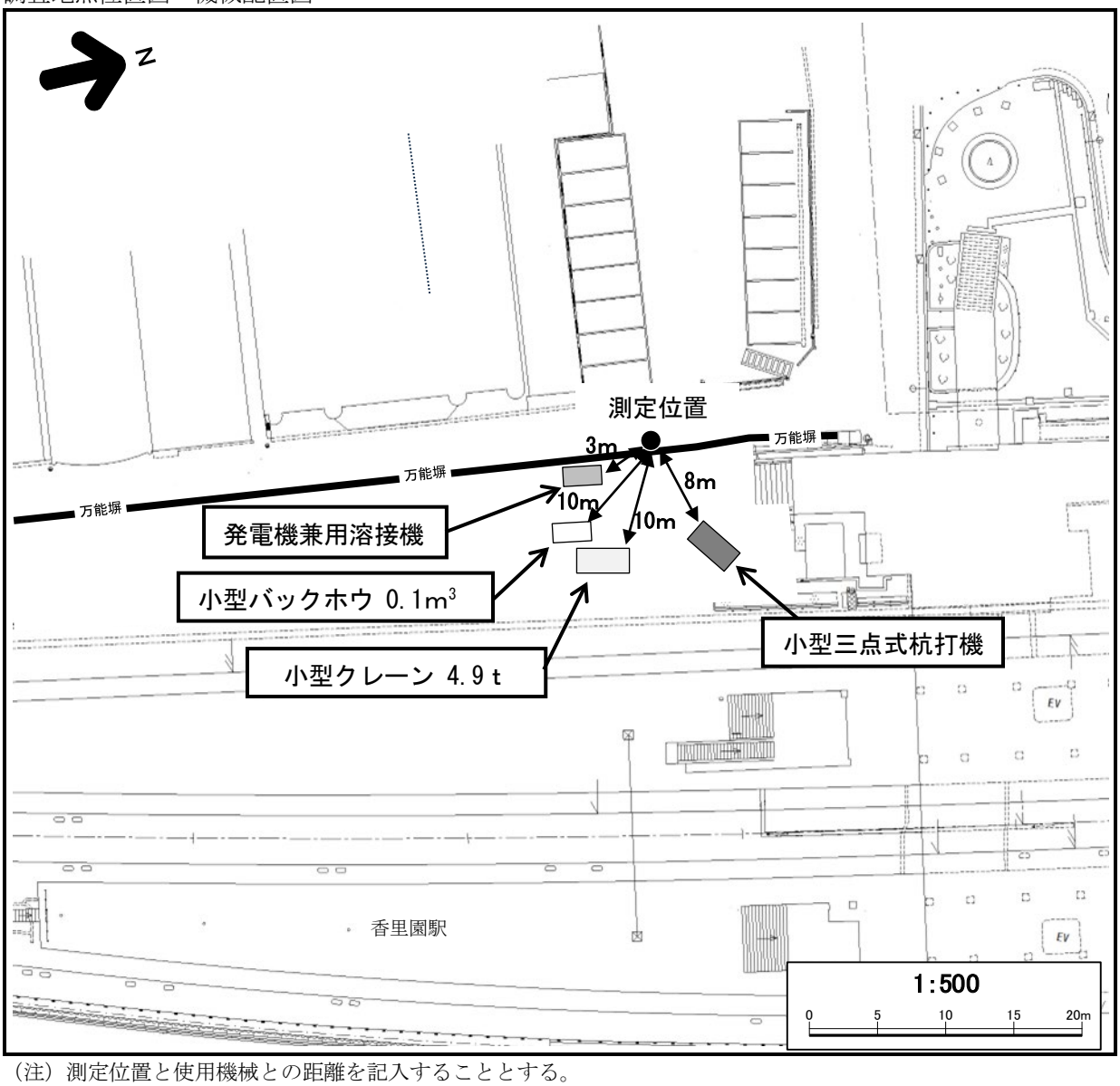
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：２工区　　用途地域：商業地域　　調査日：令和６年10月16日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：30～12：00 13：00～16：30	55	・杭工事（鋼管杭圧入工） ・小型三点式杭打機、小型クレーン4.9ｔ、小型バックホウ0.1m³、発電機兼用溶接機	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

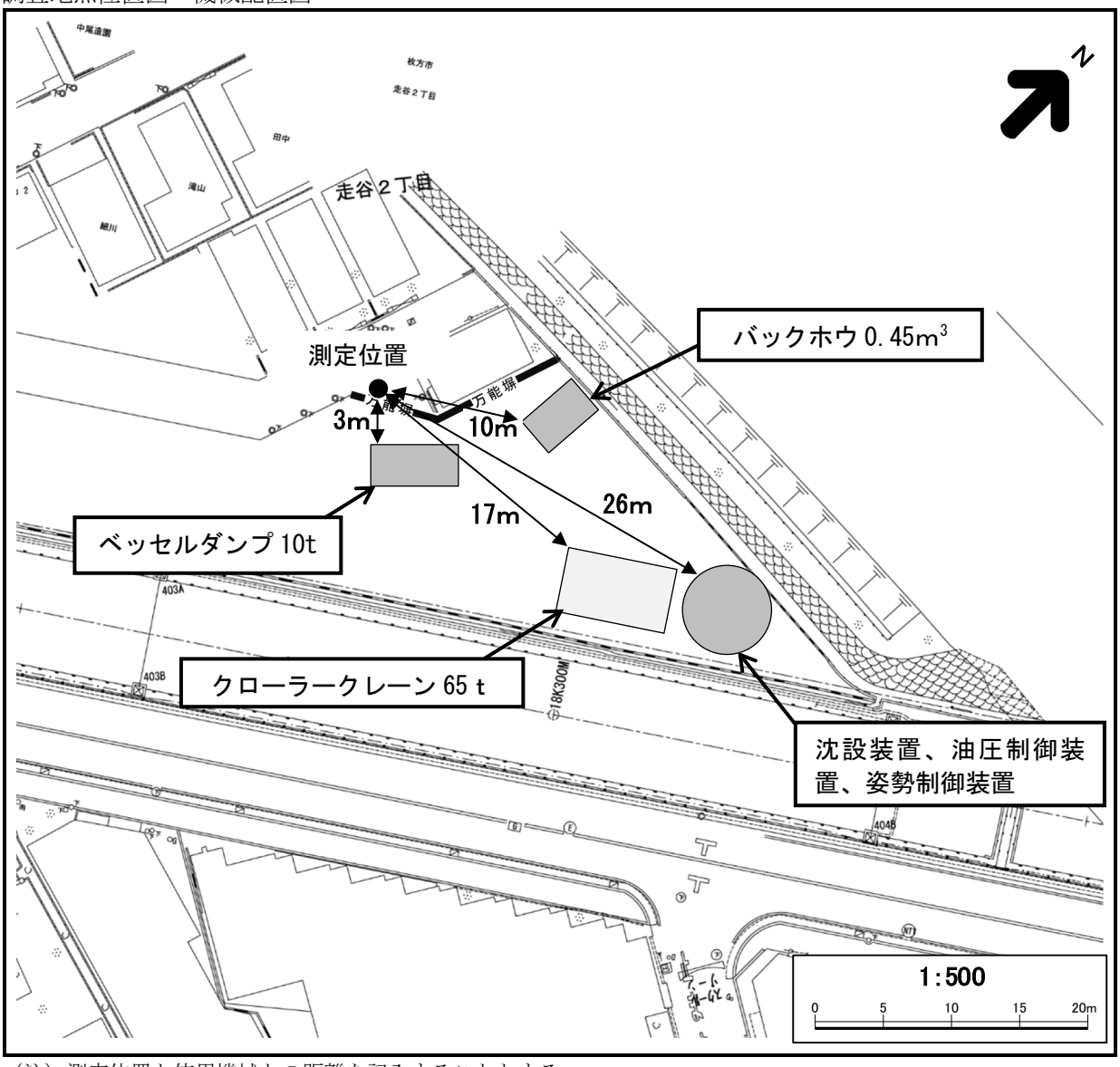
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：４工区　　用途地域：準住居地域　　調査日：令和６年10月21日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：10 ～ 16：40	54	・制御圧入・掘削、アーバンリング組立（アーバンリング工） ・クローラークレーン65ｔ、バックホウ0.45m^3、ベッセルダンプ10t、沈設装置、油圧制御装置、姿勢制御装置	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

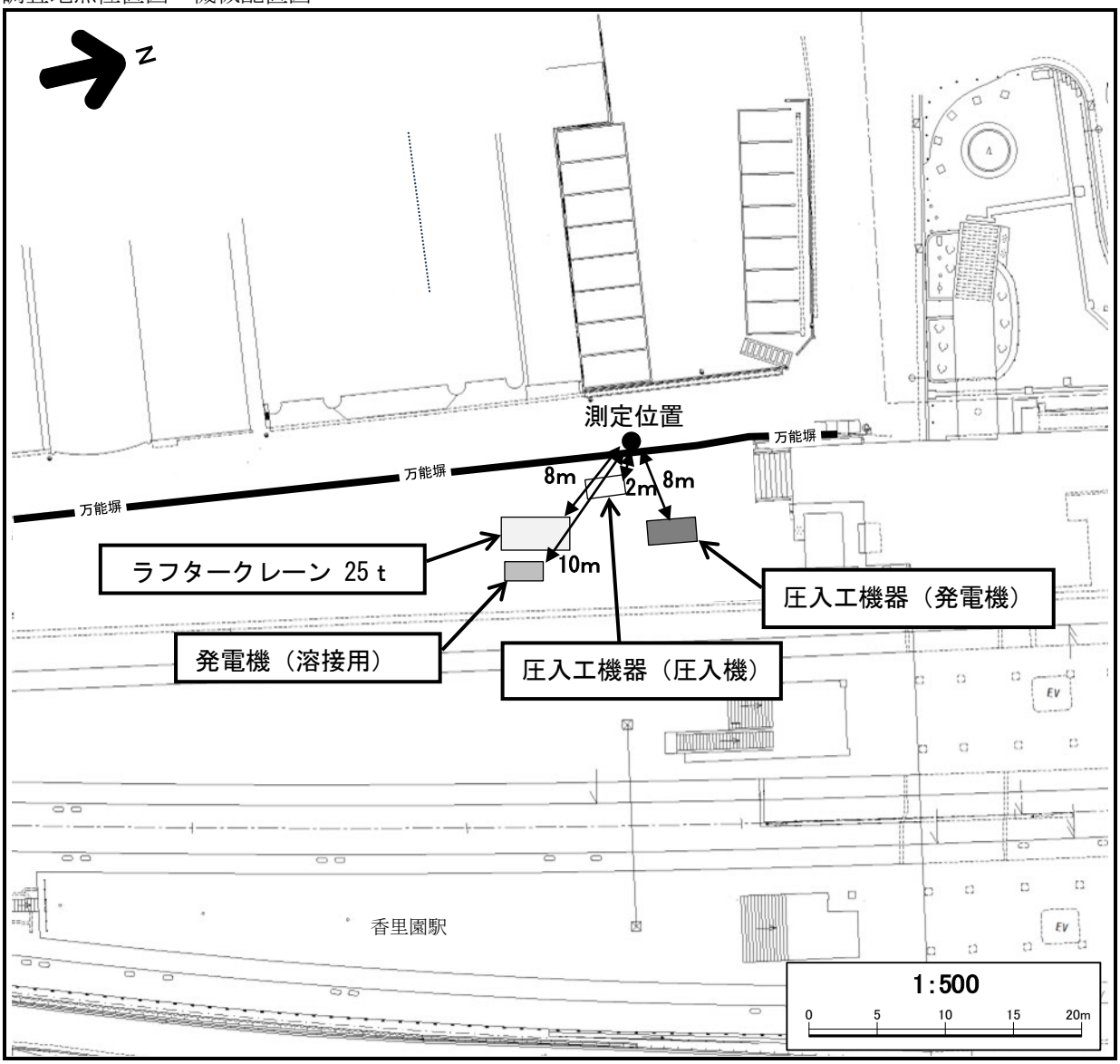
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：２工区　　用途地域：商業地域　　調査日：令和６年11月11日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：30～12：00 13：00～16：10	58	・鋼矢板圧入工 ・圧入工機器（圧入機）、圧入工機器（発電機）、ラフタークレーン25ｔ、発電機（溶接用）	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

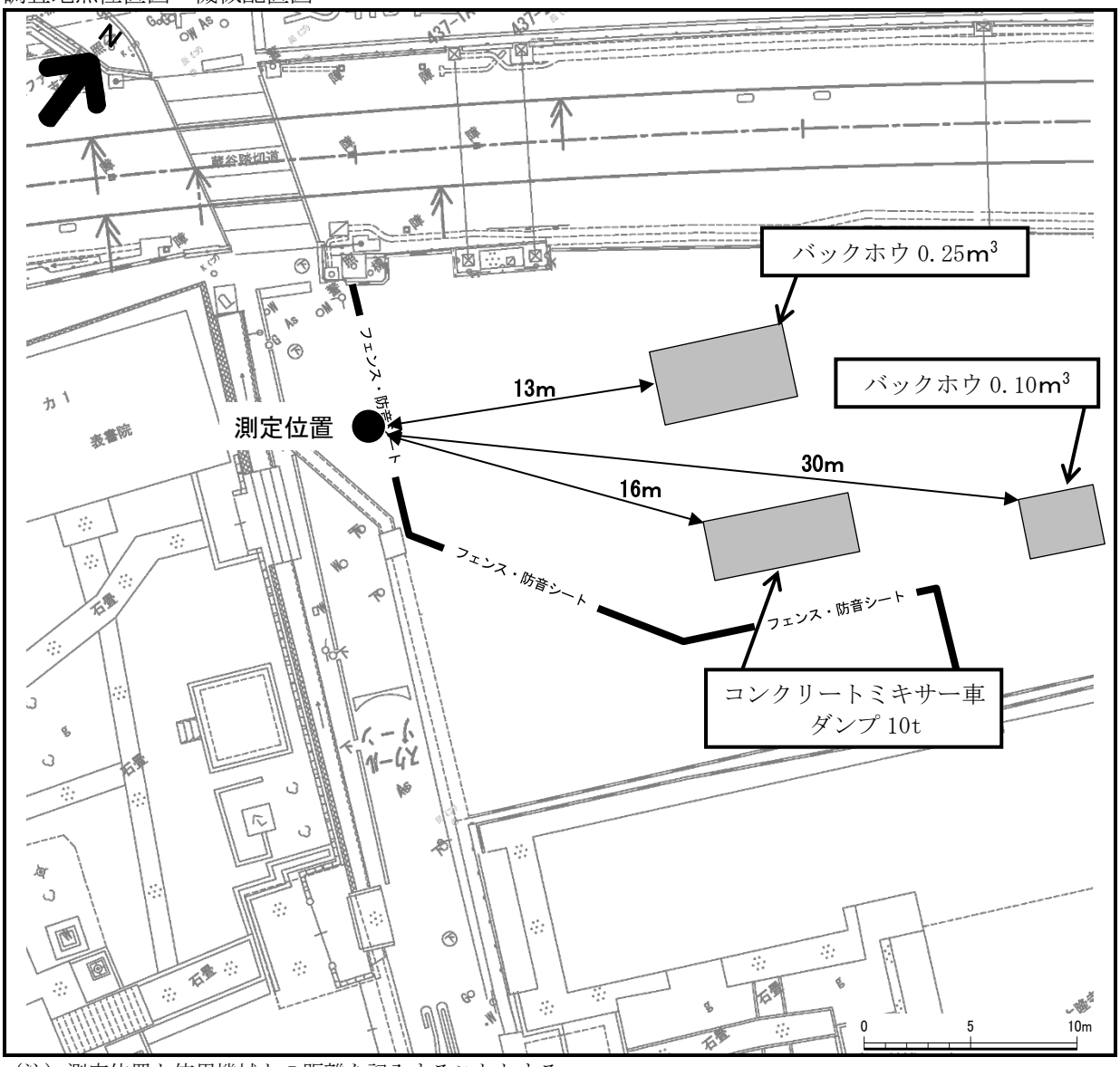
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：５工区　　用途地域：第二種中高層住居専用地域　　調査日：令和６年11月22日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
電気工事	9：00～12：00 13：10～16：10	46	・場所打杭工（仮鉄柱基礎新設工） ・バックホウ0.25m^3、バックホウ0.10m^3、コンクリートミキサー車、ダンプ10t	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。

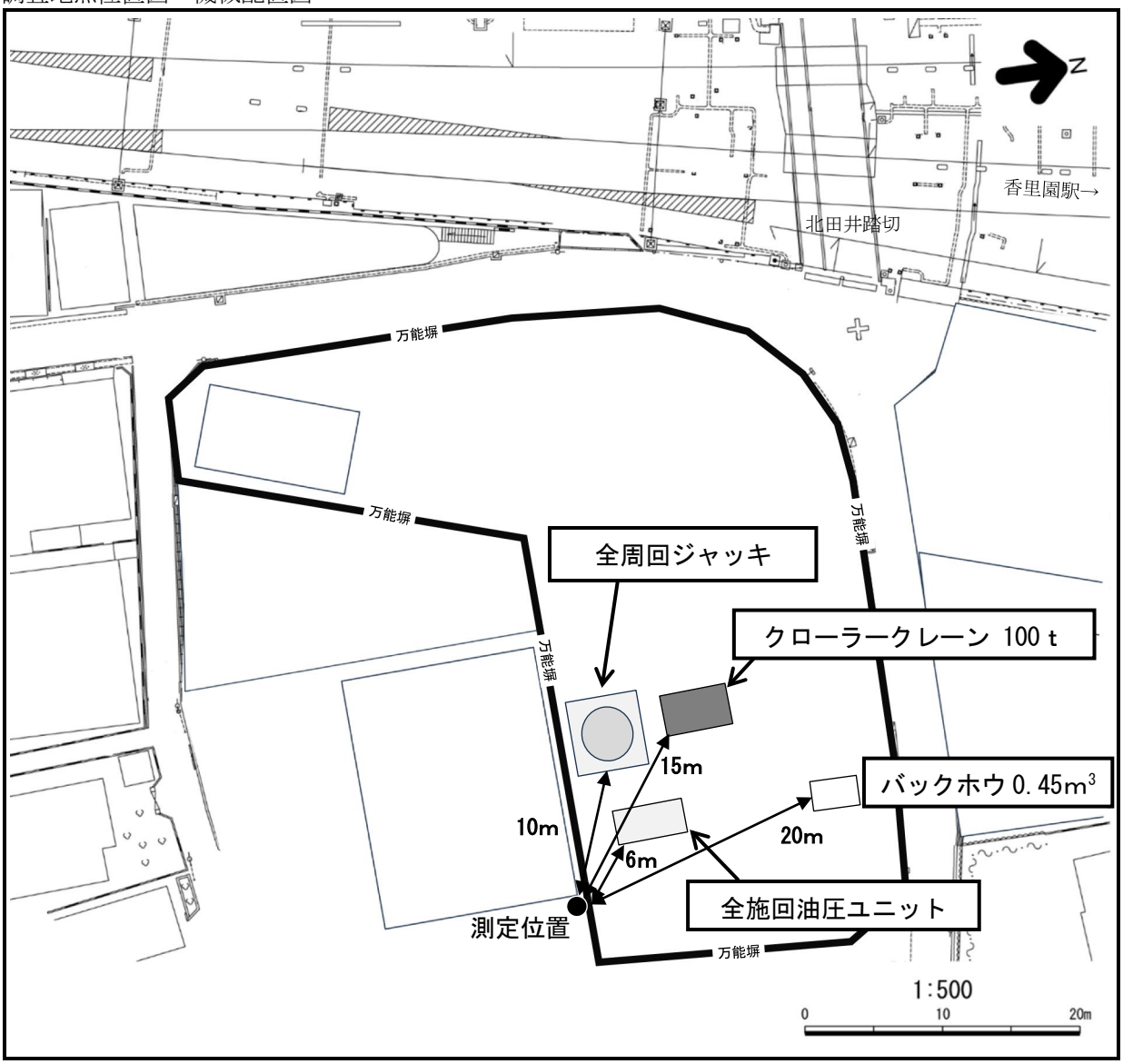
工事振動様式

建設機械の稼働に伴う振動調査結果

工区：２工区　　用途地域：近隣商業地域　　調査日：令和６年12月23日

工　種	測定時間	調査結果		環境保全目標	備　考
		振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	作業内容および使用機械	振動レベルの80%レンジ上端値（デシベル）	
土木工事	8：00～12：00 12：50～16：50	57	・撤去工事（地中障害撤去工） ・クローラークレーン100t、全周回ジャッキ、全施回油圧ユニット、バックホウ0.45m^3	75	－

調査地点位置図・機械配置図



（注）測定位置と使用機械との距離を記入することとする。